別紙２　　　　　　　　　　　　ばい煙発生施設の使用方法

別紙１の２　　　　　　　　　　届出施設の使用又は管理の方法（ばい煙）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工場又は事業場における施設番号 |  |  |
| 使用状況 | １日の使用時間及び月間使用日数等 | 時から　　　　時まで時間／回、　　回／日、　　日／月 | 時から　　　　時まで時間／回、　　回／日、　　日／月 |
| 季節変動 |  |  |
| 原材料（ばい煙の発生に影響のあるものに限る。） | 種類 |  |  |
| 使用割合 |  |  |
| 原材料中の成分割合（%） |  |  |
| １日の使用量 |  |  |
| 燃料又は電力 | 種類 | 　（比重　　　　） | 　（比重　　　　） |
| 燃料中の成分割合（%） | 灰分　 | いおう分　 | 窒素分　 | 灰分　 | いおう分　 | 窒素分　 |
| 発　熱　量　（kJ/L、kJ/m3、kJ/kg） |  |  |
| 通常の使用量(L/h、m3/h、kＷh) |  |  |
| 混焼割合 |  |  |
| 施設の使用形態 |  |  |
| 排出ガス量（m3/h） | 湿り | 最大　 | 通常　 | 最大　 | 通常　 |
| 乾き | 最大　 | 通常　 | 最大　 | 通常　 |
| 排出ガス温度（℃） |  |  |
| 排出ガス中の酸素濃度（%） |  |  |
| ばい煙の濃度 | ばいじん | 最大　　（Ｏ２＝　%） | 通常　　（Ｏ２＝　%） | 最大　　（Ｏ２＝　%） | 通常　 （Ｏ２＝　%） |
| (g/ m3) | 最大　　（Ｏ２＝　%） | 通常　 （Ｏ２＝　%） | 最大　　（Ｏ２＝　%） | 通常　 （Ｏ２＝　%） |
| いおう酸化物（ppm） | 最大　 | 通常　 | 最大　 | 通常　 |
| 窒素酸化物(ppm) | 最大　 （Ｏ２＝　%） | 通常　 （Ｏ２＝　%） | 最大　 （Ｏ２＝　%） | 通常　 （Ｏ２＝　%） |
| 最大　 （Ｏ２＝　%） | 通常　 （Ｏ２＝　%） | 最大　 （Ｏ２＝　%） | 通常　 （Ｏ２＝　%） |
| （ppm、mg/m３） | 最大　 | 通常　 | 最大　 | 通常　 |
| （ppm、mg/m３） | 最大　 | 通常　 | 最大　 | 通常　 |
| （ppm、mg/m３） | 最大　 | 通常　 | 最大　 | 通常　 |
| ばい煙量 | いおう酸化物（m３/ｈ） | 最大　 | 通常　 | 最大　 | 通常　 |

|  |  |
| --- | --- |
| ばい煙等の発生及び処理等に係る操業の系統の概要（作業工程） |  |
| 参考事項 |  |

備考　１　原材料中の成分割合（%）の欄及び燃料中の成分割合（%）の欄の記載に当たっては、重量比（%）又は容量比（%）の別を明らかにすること。

２　通常の使用量及び排出ガス量については、温度が零度であって圧力が１気圧の状態（この項において「標準状態」という。）における量に、発熱量及びばい煙の濃度については、標準状態における排出ガス１立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。

３　ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

４　ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設（ばい煙の処理等を行う施設）がある場合は、処理後の濃度とすること。

５　施設の使用形態については、届出施設からの排出ガス抑制方法（排ガス処理又は密閉構造等）について記載すること。ただし、密閉構造の場合は、次の工程等での作業及び排出状況を明らかにすること。

６　参考事項の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法等を記載するほか、ガスタービン、ディーゼル機関、ガス機関又はガソリン機関については、常用又は非常用（専ら非常時において用いられるものをいう。）の別を明らかにすること。